豊島屋と共同で環境に配慮した「紙パッケージ」を開発

～鎌倉生まれ・鎌倉育ちのお菓子「鳩サブレー」に採用～

日本製紙株式会社　　2021年10月29日

　日本製紙株式会社（代表取締役社長：野沢 徹、以下「当社」）は、株式会社豊島屋（代表取締役社長：久保田　陽彦、以下「豊島屋」）と共同で紙パッケージとパルプモールドを開発し、豊島屋が販売するお菓子「鳩サブレー」の新パッケージに10月から順次採用されます。

豊島屋は、「すべての人が笑顔になるために・・・」 との理念のもと、鎌倉を中心に神奈川県・東京都内などで展開している老舗のお菓子メーカーです。環境や社会に配慮する取り組みにも力を入れており、紙パッケージで使い捨てプラスチック使用量を削減します。

ピロー包装、緩衝材、仕切りトレーを全て紙化し、使い捨てプラスチック使用量を年間約100トン※削減することになります。（※想定値）

＜パッケージの特徴＞
■紙箱（外装）：　当社「JETスターＦ」を使用し、マイクロミシン加工を施した再封機構付きです。

■ピロー包装（外装）・緩衝材：　当社「白銀Ｆ」を使用した包材です。

■中敷きトレー：　紙箱と缶容器で使う仕切りトレーは植物由来のバガス素材のパルプモールドです。